

## インテンシブ（専門医師）コース 概要及びカリキュラム

インテンシブ（専門医師）コースでは、順天堂大学大学院がん専門医師養成コースカリキュラムのうち、「コンポーネント1・2」を受講対象としています。また、国際シンポジウム、公開講座等、がん生涯教育センターにて開催するものについても随時ご案内させていただきます。

### コンポーネント1（コア実地修練Ⅰ）（チーム医療）

#### <授業目標>

- 1) 放射線療法、化学療法、緩和ケアの専門医師養成コースにおける共通授業です。
- 2) チームが共有すべき mission と vision、診療データとその管理、チームの各人員のリーダーシップ、コミュニケーションスキル、がん医療の現状と課題等を学習する。また、全学年参加の合宿研修を行い、横断的・組織的な実習を通して、チーム医療の在り方について学習し、実践する能力を養う。
- 3) コメディカルコース・インテンシブコースの共通科目である。

#### <参考資料>

「がん医療入門」

#### <講義内容>

- 1) 講義期間：5月～7月、9月～12月
- 2) 単位数：2単位
- 3) 時間：18：00～19：30
- 4) 講義場所：8号館1階3番教室

(※6/22(火)、9/15(水)、12/13(月)は10号館8階803カンファレンスルーム)

## (5) 授業内容

## 【放射線療法】

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	6/9 (水)	放射線被曝と防護	島田義也 (放射線医学総合研究所 発達被ばく影響研究グループ)	樋野興夫 (分子病理 病態学)	唐澤久美子 (放射線医学) 小澤修一 (先端放射線治療・医学物理学 講座)
2	6/16 (水)	粒子線治療の基礎と 実際	村山重行 (静岡県立静岡がんセンター 陽子線治療科部長)	唐澤久美子	笹井啓資 (放射線医学)
3	6/21 (月)	肺癌を疑う胸部異常 影の見方	楠本昌彦 (国立がん研究センター中 央病院放射線診断部医長)	白石昭彦 (放射線医 学)	桑鶴良平 (放射線医学)

## 【化学療法】「がん専門病院におけるがん化学療法」

総論：各施設における化学療法の現状と問題点      各論：臓器別がん化学療法、その他

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	9/8 (水)	・肺癌の化学療法 ・腫瘍内科医の役割	大江裕一郎 (国立がん研究センター東 病院)	高橋和久 (呼吸器内 科学)	鈴木健司 (呼吸器外科 学)
2	9/14 (火)	・婦人科癌の化学療法 ・外来化学療法	勝俣範之 (国立がん研究センター中 央病院)	樋野興夫	寺尾泰久 (産婦人科学)
3	9/27 (月)	・乳癌・原発不明癌の化 学療法 ・支持療法	高橋俊二 (癌研究会有明病院化学療 法科)	小松則夫 (血液内科 学)	齊藤光江 (乳腺・内分泌 外科学)

【外科腫瘍】

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	7/5 (月)	がん治療における外科医の役割	松原久裕 (千葉大学医学部第2外科教授)	齊藤光江	川崎誠治 (肝・胆・膵外科学)
2	7/14 (水)	治療戦略考案を目指した癌の基礎研究	佐谷秀行 (慶応大学先端医学研究所教授)	樋野興夫	齊藤光江
3	7/21 (水)	腫瘍外科医の役割	堀江重郎 (帝京大学医学部泌尿器科教授)	齊藤光江	藤目 真 (泌尿器外科学)

【緩和ケア】

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	5/17 (月)	本邦における緩和医療の均霑化：多職種連携・地域連携	的場元弘 (国立がん研究センター中央病院)	井関雅子	小松則夫 (血液内科学)
2	5/26 (水)	緩和ケア病棟の変遷と展望	林章敏 (聖路加国際病院)	樋野興夫	井関雅子 (疼痛制御学)
3	6/3 (木)	精神腫瘍学概論	小川 朝生 (国立がん研究センター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発部)	樋野興夫	唐澤久美子

【がん専門薬剤師Ⅰ】

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	12/13 (月) 10号館8階803 カンファレンス ルーム	癌化学療法と薬剤耐性-1	池上 洋二 (明治薬科大学薬物体内動態学教室)	越前宏俊 (明治薬科大学薬物治療学教室)	担当者調整中
2	12/14 (火)	癌化学療法と薬剤耐性-2	鈴木俊宏 (明治薬科大学分析化学教室)	越前宏俊	担当者調整中

【がん専門薬剤師Ⅱ】

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	7/22 (木)	がん化学療法の安全を考える	山内 桂子 (東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室 主席研究員)	高橋 知子 (東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室)	小茂田 昌代 (東京理科大学教授)
2	9/24 (土)	調整中	増保 安彦 (東京理科大学教授)	樋上 賀一 (東京理科大学教授)	深井 文雄 (東京理科大学教授)
3	11/2 (火)	調整中	廣田孝司 (東京理科大学教授)	芳賀 信 (東京理科大学教授)	担当者調整中

【がん看護】

	月／日(曜日)	タイトル	担当講師	司会	コメンテーター
1	6/22 (火) 10号館8階803 カンファレンス ルーム	がん看護専門看護師の果たす役割	林 忍り子 (財団法人同友会藤沢湘南台病院)	奥出有香子 (がん看護専門看護師)	石川弥生 (大学院がん看護 CNS 修了者)
2	9/15 (水) 10号館8階803 カンファレンス ルーム	チーム医療とマネジメント:がん看護専門看護師の役割	中村めぐみ (聖路加国際病院看護管理室)	山口聖子	小林直子 (大学院がん看護 CNS 修了者)
3	9/22 (水)	緩和ケアにおけるがん看護専門看護師の役割	田村恵子 (淀川キリスト教病院)	浅野美知恵 (医療看護学研究科がん看護学)	山口聖子 (緩和ケア認定看護師)
4	10/7 (木)	在宅療養するがん患者の家族への援助:がん看護専門看護師の活動と課題	濱本千春 (YMCA 訪問看護ステーションピース)	奥出有香子	一瀬直子 (大学院がん看護 CNS 修了者)
5	10/20 (水)	がん相談支援室におけるがん看護CNSとしての活動と課題	小澤桂子 (NTT 東日本関東病院)	山口聖子	遠藤和代 (大学院がん看護 CNS 修了者)
6	7/10 (土) 14:00~14:35 10号館1階105 カンファレンス ルーム	「放射線療法におけるがん患者・家族への教育」	藤本美生 (兵庫県立粒子医療センター)	浅野美知恵	奥出有香子

## チーム医療合宿研修（必修）

- 1) 実施期日 平成 22 年 9 月 11 日（土）～12 日（日）
- 2) 研修場所 成田ビューホテル  
〒286-0127 千葉県成田市小管 700  
交通アクセス：JR 成田空港駅よりシャトルバスで 20 分
- 3) 研修内容
  - (1) 受講にあたり、各指導教員に日程等について事前に説明しておいてください。  
研究科委員会では、4 月定例委員会で主任教授に説明しております。
  - (2) 研修の具体的な内容や実施要項等は、8 月下旬に説明し、通知する予定です。
  - (3) 本合宿研修は、がんプロフェッショナル養成プランに参加の他大学院や他の養成コースの学生も一緒に参加されます。
  - (4) 当日の研修内容の概略は、次のとおりです。

### 平成 21 年度実施例

#### **【第 1 日目】**

- 8 : 30 開会
- 8 : 45 EBM とは
- 9 : 00 今日の課題と乳がん治療総論
- 9 : 20 Pub Med の使い方
- 9 : 35 乳癌の薬物療法
- 9 : 55 乳癌の放射線療法
- 10 : 20 がん患者の心理
- 10 : 40 チーム医療に必要なコミュニケーションスキルとリーダーシップ



- 11 : 40 昨年の実習風景のビデオ供覧
- 12 : 00 アイスブレイク
- 12 : 30 昼食
- 13 : 30 実習開始
- 18 : 30 夕食
- 19 : 30 研修室にて研修・翌日のリハーサル

#### **【第 2 日目】**

- 8 : 00 各グループでリハーサル
- 8 : 45 成果発表と討論
- 11 : 45 総合討論
- 12 : 15 総評
- 12 : 25 閉会挨拶：修了証書授与



## コンポーネント 2（基礎講義）

### < 授業目標 >

医師養成コースとコメディカル養成コースの共通科目です。がんの専門職者として必要な授業を網羅しています。全員で学習することにより、チーム医療を学ぶ機会としています。

放射線療法、化学療法、緩和ケアの専門医師養成コースにおける共通授業です。

### < 参考資料 >

「がん医療入門」、「放射線治療分野の医学物理士のための基礎知識」、「講義録 腫瘍学」

### < 授業内容 >

- 1) 講義期間：4月～2月
- 2) 時 間：18：00～19：30  
(6/1 (火) のみ 19：00～20：30)
- 3) 場 所：8号館1階3番教室  
(5/10 (月)：10号館2階203カンファレンスルーム)  
(11/15 (月)：10号館4階403カンファレンスルーム)
- 4) 授業内容・日程

回	月/日(曜日)	講義タイトル・内容	担当教員
1	4/21 (水)	基礎腫瘍学総論 (がんの生物学) 腫瘍の概念、腫瘍の病理学的分類、腫瘍の形態と構造、腫瘍の発生と進展、腫瘍の臨床、細胞同期、アポトーシス、がん遺伝子とがん抑制遺伝子	樋野 興夫 (分子病理病態学・教授)
2	4/22 (木)	禁煙指導、二次発がん、化学予防、遺伝相談カウンセラー、治療誘発発がん・後遺症	齊藤 光江 (乳腺・内分泌外科学・先任准教授) 樋野 興夫 (分子病理病態学・教授)
3	4/23 (金)	基礎腫瘍学総論 (病理学/臨床検査医学/分子生物学) 生検、がんバイオマーカー	樋野 興夫 (分子病理病態学・教授)
4	4/27 (火)	放射線診断学 画像診断総論、病期分類と画像診断 (脳神経、骨・関節・軟部、胸部、消化器、泌尿生殖器)、読影実習	白石 昭彦 (放射線医学・准教授)
5	4/30 (金)	臨床腫瘍学総論 I (支持療法)	高橋 和久

		悪心・嘔吐：好中球減少、血小板減少：貧血： 血管外漏出、腫瘍随伴症候群	(呼吸器内科学・ 教授)
6	5/10 (月) 10号館2階 203カンファ レンスルーム	臨床腫瘍学総論Ⅱ(頭頸部腫瘍学) 頭頸部腫瘍の症状・診断、頭頸部腫瘍の治療、 口腔癌、鼻副鼻腔癌、上咽頭癌、中咽頭癌、下 咽頭癌、喉頭癌、甲状腺癌、その他の癌、頸部 リンパ節転移	池田 勝久 (耳鼻咽喉科学・ 教授)
7	5/11 (火)	臨床腫瘍学総論Ⅰ(腫瘍関連救急) がん関連救急、抗がん剤による急性有害症状に 対する対応	射場 敏明 (救急・災害医 学・教授)
8	5/12 (水)	基礎腫瘍学総論(腫瘍免疫学) 免疫学の基礎のおさらい、抗腫瘍免疫によるサ ーベイランスと癌による免疫抑制、抗腫瘍細胞 性免疫による癌治療、抗体を用いた癌治療、抗 腫瘍免疫療法の見通しと問題点	奥村 康 (アトピーセンタ ー長)
9	5/20 (木)	臨床腫瘍学総論Ⅰ(放射線腫瘍) 放射線による腫瘍制御の原理、放射線治療の役 割と併用療法、治療方針の決定とそれに関わる 因子、放射線治療の方法、放射線治療に伴う有 害反応、放射線治療各論	唐澤久美子 (放射線医学・先 任准教授)
10	5/21 (金)	基礎腫瘍学総論(がんの疫学とがん予防、発生 のスクリーニング) 発がんと環境因子、遺伝子スクリーニング、遺伝 カウンセリング、がんの一次、二次、三次予防	稲葉 裕 (特任教授)
11	5/24 (月)	臨床腫瘍学総論Ⅱ(小児腫瘍学) 小児腫瘍概論、小児腫瘍に対する治療：化学療 法・外科治療・放射線療法・支持療法、各論： 血液腫瘍・悪性リンパ腫：脳腫瘍：固形腫瘍、 緩和医療	齋藤正博 (小児思春期発 達・病態学・准教 授)
12	5/25 (火)	臨床腫瘍学総論Ⅰ(がん患者に対するリハビリ テーション) 作業療法、言語療法、嚥下療法	長岡 正範 (リハビリテーシ ョン医学・教授)
13	5/28 (金)	臨床腫瘍学総論Ⅱ(血液腫瘍学・リンパ腫瘍学) 白血病の病態と治療、リンパ腫・骨髄腫の病態 と治療	杉本 耕一 (血液内科学・先 任准教授)
14	6/1 (火) 19:00~ 20:30	臨床腫瘍学総論Ⅱ(脳神経腫瘍学) 脳腫瘍概論・脳腫瘍各論(グリオーマなど)	菱井 誠人 (脳神経外科学・ 前任准教授)
15	6/2 (水)	臨床腫瘍学総論Ⅱ(乳腺腫瘍学) 乳癌の基礎研究の進歩、乳腺疾患の鑑別診断、 乳癌の病理、乳癌の外科治療、乳癌の薬物療法、 乳癌の放射線療法、乳房再建術、乳癌薬物療法 に用いる薬剤の薬理、乳癌患者の緩和ケア・ス ピリチュアルケア、乳癌のEBM/臨床試験、乳癌 の集学的治療におけるチーム医療の理解	齊藤 光江 (乳腺・内分泌外 科学・前任准教授)
16	6/4 (金)	臨床腫瘍学総論Ⅱ(婦人科腫瘍学) 子宮頸癌の病因、診断、治療、子宮頸癌検診、 NAC療法、予防ワクチン、子宮体癌の病因、診	加藤 聖子 (産婦人科学・准

		断、治療、化学療法、ホルモン療法、卵巣癌の病理および特徴、診断、手術療法、卵巣癌の化学療法、標的療法、緩和ケア、外陰癌、膣癌の診断、治療、絨毛癌の診断、管理法、化学療法、子宮肉腫の診断、治療、その他の癌	教授)
17	6/10 (木)	臨床腫瘍学総論Ⅰ (生物学的治療法など) サイトカインと細胞療法、抗体療法、分子標的療法	杉本耕一 (血液内科学、先 任准教授)
18	6/11 (金)	臨床腫瘍学総論Ⅰ (栄養補給) がん患者における栄養補給	永田 智 (小児思春期発 達・病態学・先任 准教授)
19	6/15 (火)	臨床腫瘍学総論Ⅱ (がんの精神社会的側面/精神腫瘍学) 精神腫瘍各論：ケーススタディ、告知の仕方、告知の適否	新井 平伊 (精神・行動科 学・教授)
20	6/17 (木)	臨床腫瘍学総論Ⅱ (呼吸器腫瘍) 肺がん、中皮腫の分子病態肺がん、中皮腫の検査計画、治療計画と患者への説明肺がん、中皮腫の標準的治療、肺がん、中皮腫の化学療法と分子標的治療治療の効果判定肺がん、中皮腫化学療法に支持療法	高橋 和久 (呼吸器内科学・ 教授)
21	6/18 (金)	臨床腫瘍学総論Ⅱ (消化器腫瘍学) 腫瘍縮小効果と生存期間の対比多剤併用化学療法外来化学療法への推移セカンドラインの積極的な導入、集学的治療による延命有害事象に対する対策高齢者に対する化学療法他施設参加の臨床第Ⅲ相試験の重要性	加藤 順子 (消化器内科学・ 助教)
22	6/23 (水)	臨床腫瘍学総論Ⅱ (骨軟部腫瘍学) 骨軟部腫瘍に対する診断と治療	鳥越知明 (整形外科・運動 器医学・准教授)
23	6/25 (金)	臨床腫瘍学総論Ⅰ (外科腫瘍学) がんの悪性度、がんの進行度と生存率、がんの検査法、がん治療法の選択、がん外科治療の実際、がんの転移・再発、手術とリスク (術後合併症など)	梶山 美明 (上部消化管外科 学・教授)
24	7/2 (金)	臨床腫瘍学総論Ⅱ (泌尿器腫瘍学) 精巣腫瘍の化学療法・放射線療法、腎細胞癌の免疫療法・化学療法、膀胱癌の化学療法・免疫療法・放射線療法、前立腺癌の内分泌療法・化学療法・放射線療法、副作用対策、緩和医療、栄養補助、QOL 評価方法	荻島 達也 (泌尿器外科学・ 准教授)
25	7/8 (木) 10号館8階803 カンファレン スルーム	緩和医療講義 1：緩和医療総論 緩和医療の概念、社会心理的側面、心身症状緩和、地域連携	奥野 滋子 (悪性腫瘍科学研 究室)
26	7/9 (金)	緩和医療講義 2：がん疼痛緩和 オピオイド治療 薬物療法、非薬物療法	井関 雅子 (疼痛制御学・先 任准教授)



27	11/15 (月) 10号館4階403 カンファレン スルーム	臨床腫瘍学総論 I (抗がん剤治療:薬物療法) 化学療法の歴史、化学療法の作用、抗がん薬ス クリーニング、術前・術後化学療法、多剤併用 化学療法、化学療法に関する各種理論	高橋俊二 (客員准教授)
28	日程調整中	臨床薬理・臨床試験概論 I 第 I 相試験、第 II 相試験第 III 相試験有効性と 安全性の評価	佐瀬一洋 (臨床薬理学、教 授)
29	日程調整中	臨床試験概論 II 臨床試験と個人情報保護、知的財産権研究の科 学性確保と組織論生物統計 治験・GCP 概論 医師と薬事法医師と GCP 医薬品審査承認の仕 組み治験責任医師の責務インフォームドコンセ ント	佐瀬一洋 (臨床薬理学、教 授)